

○平成 26 年度 第 2 回 水工学委員会幹事会

日 時：平成 26 年 10 月 7 日（火）12:00～13:00

場 所：土木学会講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

出席者：浅沼順、石平博、泉典洋、井上徹教、稲垣厚至（神田代理）今村正裕、梅田信、江種伸之、大槻英樹、大石哲、大本照憲、鬼束幸樹、風間聡、門田章宏、川池健司、川越清樹、河原能久、木内豪、里深好文、清水義彦、杉原裕司、角哲也、関根正人、竹林洋史、立川康人（幹事長）、田中規夫、田中仁、田中昌宏、藤堂正樹、戸田祐嗣、富永晃宏、中嶋規行、馬場康之、原田守博、深見和彦、堀智晴、松田寛志、道奥康治（委員長）、武藤裕則、矢島啓、渡辺勝利（50 音順、敬称略）

議 題：

《報告事項》

1. 水工学に関する夏期研修会（8 月 25 日、26 日、九州工業大学）（資料 1）

参加費についてアンケート結果をもとに検討を続けることとなった。原稿のカラー化が望ましいが印刷費が高騰するため、電子資料との併用が現実的と考えられる。今年の実験を次年度に反映させることとなった。

2. 水シンポジウム長崎（8 月 21 日、22 日、長崎ブリックホール）

参加者数 485 名であった。第一分科会の成果を土木学会誌の地域レポートに投稿すべく準備を進めている。

3. 全国大会研究討論会（9 月 10 日、12 日、大阪大学豊中キャンパス）

- 豪雨災害に挑む！—近年の国内での水害の特徴と対策—
- 水理・水文解析のための汎用プラットフォームによる協力連携と人材育成

4. 各部会、小委員会、関連委員会の活動報告・計画（第 1 回水工学委員会以降の情報があれば）

- 流量観測技術高度化小委員会（資料 2）
- 水理実験指導書改定小委員会
- 水理公式集編集小委員会（資料 3）
- 水害対策小委員会（資料 4、5）
- 流域管理と地域計画の連携方策小委員会（資料 6）
連携方策に関するワークショップについて（主催：土木学会流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会 11 月 25 日(火)、土木学会講堂）
- 論文編集委員会（資料 7）
- 基礎水理部会 基礎水理シンポジウム 2014(案)（資料 8）
- 環境水理部会 樹林化ワークショップ 2014 in 鬼怒川(案)（資料 9）

5. その他

- 河川技術シンポジウムは次年度 6 月 10、11 日に東京大学で開催予定である。
- 「東日本大震災からの復旧・復興に関する意見交換会」が 8 月 22 日に土木学会で開催され、田中(規)委員、横山委員が参加した。

《協議事項》

1. 平成 26 年度 第 59 回水工学講演会の開催について（早稲田大学）
順調に進んでいることが報告された。
2. 平成 27 年度 水工学に関する夏期研修会について（神奈川県で開催予定）
8 月 24 日、25 日に横浜国立大学で開催予定である。
3. 平成 27 年度 水シンポジウムについて（福井県で開催予定、基礎水理部会がセッション担当）
第一回実行委員会、企画部会が 10 月 27 日に福井県庁で開催予定である。
4. 平成 27 年度 第 60 回水工学講演会の開催について（東北工業大学）
平成 28 年 3 月の第 2 週に開催予定である。
5. TC113 の日本開催について（2015 年 5 月 25 日（月）～29 日（金））
会議に必要となる資料作成の費用について、水工学委員会からも分担することが認められた。
6. 「土木学会学術文化事業」指定型への寄付金を用いた賞の創設について
河川技術論文集で、若手技術者や研究者をエンカレッジする新たな論文賞等を設定することの検討の可否を河川部会に依頼していることが報告された。
7. その他

○第 1 回水工学論文集小委員会

日 時：平成 26 年 10 月 7 日（火）13:00～17:00

場 所：土木学会講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

議 題：

1. 査読者の選定，査読依頼発送の準備について
査読者が決定した。締め切り時刻を大きく上回ってからの投稿原稿 2 件は受け付けないこととした。
投稿後に取り下げの連絡があった 4 件については、取り下げを認めた。
2. その他